

付録
地名索引
デ・レーケのこと

地名索引（付・簡単な説明）

徳島文理大学 教授 寺戸恒夫

索引について

- 1 原本の地名、または地名らしきものを、アイウエオ順に列記し、記載されている箇所のページ（数字）をすべて示した。
- 2 原本のミスが明確なもの（*で示す）は、ミスした地名をそのまま記載し、説明でその旨を指摘した。
- 3 地名の位置について不明または不正確なものは、次の記号で示した。
 - 位置不明のもの
 - おおよその位置は分かるが正確な地域を示せず、なお検討を要するもの。
- 4 同一地名で一部別称する場合、相違する部分をへゝで示した。
例 第十へ村ゝ堰
- 5 当時の谷名は、集水域で川の名前を総称して示すのが一般的である。同様に山名も谷の源流域全体を総称しているのが普通で、山頂付近にある神社名をもって山名に代用することもあった。

赤石港 | 付図 和田島の近くに記載あり、小松島市赤石町の立江川河口の港。

鮎喰川 | 8・11・16・17・18・19・28・30・33・58・61・78

アシロ村 | 81・82 三好郡三好町東半分を占める足代地区の旧村名。

穴吹川 | 15・16 美馬郡穴吹町北部の旧村名。

阿波(国) | 3・4・5・9・29・54・77 現徳島県全域と同じ。古代以来の国名。

阿波海 | 53・付図 徳島県の沿岸。紀伊水道を指している。

阿波城山 | 3・26 徳島市城山。

イガサ明神 | 87 伊笠明神。伊笠山(標高七〇五m。阿波町と市場との境)のこと。

イグチ谷 | 84 美馬郡脇町の岩倉地区の井ノ口谷川。

池田(村) | 13・20・21・27・29・50・51・52・64・80 三好郡池田町の中央の旧村名。

イケノウチ | 付図 池の内か。旧吉野川・撫養川・新池川に囲まれた地域に記載あり、鳴門市大津町。

伊沢(村) | 51・86 阿波郡阿波町中央部の旧村名。

伊沢市ノ堰 | 47・付図 阿波町伊沢、瀬詰大橋付近にあった堰らしい。付図では、伊沢谷と大久保谷が吉野川と合流する部分の真ん中に地名の記載がある。

伊沢谷 | 86 阿波町中央を流れる伊沢谷川。

伊沢山 | 86 伊沢谷川の源流の山の総称。

石槌山 | 10 石槌山。

●伊勢山 | 10 吉野川上流と太平洋斜面の分水界の高山だが位置不明。高知県土佐町伊勢川地区南の笹ヶ峰(標高一三三m)の可能性が高い。

イツキ谷 | 82 三好郡三好町足代東部の伊月集落中央を流れる川。

○伊豆山 | 11 徳島市南にある山。位置からして犬山の可能性が高い。

○一字山 | 11・15 剣山付近の山で一字村付近らしいが正確な位置は不明。

イノ川 | 16 飯尾川。

○イノ山 | 16 飯尾川源流の山。麻植郡鴨島町南方の山の総称か。

井ノ内谷 | 13 三好郡井川町井内谷川。

井ノ内谷堤防 | 49・69・付図 板野郡上板町瀬部南東の井ノ内の堤防のこと。付図にはAと地名が記されている。井川町井ノ内谷ではない。

井ノ内山 | 13 三好郡井川町井ノ内谷付近の山。

今切川 | 7・8・24・43・45・52・72

イヤ川 | 13・15・20・32 祖谷川。

伊予街道 | 9・10・12 愛媛県の旧国名。

伊予街道 | 80 徳島城鷲ノ門から吉野川右岸を通り、三好郡池田町から川之江市に通じる街道。

岩倉山 | 84 美馬郡脇町岩倉北方の山の総称。井ノ口谷川の源流。

岩津〈村〉 | 3・6・7・15・16・21・22・23・27・28・47・51・52・64・86 阿波

郡阿波町岩津。

ウ・*ウ 〇 e y | 69 名西郡第十村下流の吉野川末流のひとつ。
82 湯谷のミス。三好郡三好町足代東部の谷から宮ノ岡を流れて、足代

八幡神社すぐ東へ流下する川。

鶺鴒 沼 | 61 岐阜県各務原市内の市制以前の町名。木曾川右岸にある。

祖母島 | 44・付図 板野郡藍住町祖母ヶ島。付図にもUbagashimaとある。

馬木谷 | 81 馬木谷川。マキダニと読む。三好郡三好町中央の新町東を流れて美濃田の淵に流れ込む。

馬路川 | 32・80 三好郡池田町西部から吉野川に流れ込む川。

梅橋 | 53・付図 鳴門市撫養川にかかる橋名。文明橋 Bunmeibashi を読み違えたものであろう。当時の撫養川には文明橋のみであったと思われる。付

図は位置をかなり南に記載している。

浦池村 | 88 板野郡土成町西部の旧村名。

漆谷 | 81 原文の字（最上段左から二行目）「稜」は誤字。三好郡三好町足代

を流れる黒川原谷の旧名。今はほとんどこの名は使われていない。

江川 | 48・付図 麻植郡鴨島町を流れる。

江川堰 | 48 吉野川から江川への分派する地点の堰か。

蝦夷 | 55 北海道や奥羽地方の総称。

榎瀬川 | 8・51・52・71・付図 徳島市川内町を流れる榎瀬江湖川のこと。
鳥帽子山 | 11・14・15 西祖谷山村の西部にあり、東祖谷山村との境にある山（標

高一六七〇m）。本文の鳥帽子山は加茂谷川・平田川・貞光川などの源流としており、現鳥帽子山とは違った山を指している。

オ 大磯山 | 付図 鳴門市里浦町北方のいわし山。

オオイソハナ | 54・付図 鳴門市里浦町北東端の大磯鼻。付図にはOisoyama（いわし山）の東に明記。

小川谷 | 81 三好郡三好町西部の小川谷川。

大久保谷 | 47・87・付図 阿波郡阿波町の大久保谷川。

〇大久保山 | 12・87・88 日開谷川源流の大窪山のミスか。八十八カ所霊場大窪寺背後の女体山を含む一帯を指しているらしい。

大坂 | 5・55・61 大阪（府）。

大坂谷 | 38・44・89・付図 板野郡板野町の大坂谷川。

大坂山 | 89 板野町大坂峠付近の山の総称。

〇大瀬 | 52 三好郡池田町川崎付近の吉野川の瀬を広く指すか。

オタキ谷 | 84 大滝谷。美馬郡脇町の大谷川のこと。

オタキ山 | 84 脇町北方の大滝山。標高九四六m。

太田谷 | 15 美馬郡貞光町太田を流れる太田川。

大寺村 | 89 板野郡板野町中心部の旧村名。

大 山 89・付図 上板町北部の山。

*小 田 村 84 太田村のミス。美馬郡貞光町北部の旧村名。

大 松 川 79 付図 勝浦川下流の派川。徳島市大松を流れていた。一部は現在バ
イパスとなる。

奥 山 14 半田川源流の山。白滝山を含む一帯を指すか。

大 毛 山 付図 鳴門市大毛島北部の山。堀越の東。

*オチヤマ谷 82 オチアイ谷のミス。三好郡三野町太刀野の原地区の北東にある小谷。
中流は南西方に流れて、ツルイシ谷と合流している。

鬼 ケ 寄 17・18・19 鬼ヶ崎。別宮川と鮎喰川の合流点の突端。

尾 開 村 88 阿波郡市場町の市街地北部の段丘上にある旧村名。オバリと読む。

●オワリグチ 88 日開谷川下流、市場町上喜来付近の地名らしい。上喜来に「大開(お
おはり)」「開ノ口」の小字あり、「大開の口」あるいは、「尾開の口」
か。

カ カウツ山 11・16・付図 麻植郡山川町と美馬郡穴吹町の境にある高越山。(標高
一一三〇m余)

香 美 村 87 阿波郡市場町日開谷川左岸の旧村名。カガミと読む。

●カキウチ山 11・16 16には穴吹川右岸にある山とあり、美馬郡穴吹町半平山付近の
高山とあるが、位置不明。

*カヨキヨ谷 88 カネキヨ(金清)谷のミス。阿波郡市場町中部で、土成町への広域

農道が通過する谷。現在は金清自然公園がある。

覚 円 村 65 名西郡石井町北部にある。旧村としては東覚円村と西覚円村の二村
があった。

○ 梶 山 48・49・付図 名西郡石井町覚円あたりの堤防をいう。
11・16 16では穴吹川左岸の山としている。穴吹町口山から貞光町端山
とを結ぶ県道の最後の集落を梶山といい、その南に友内山(標高一〇七
三m)が聳えるので、恐らく友内山を指しているものと思われる。

勝 浦 川 76・77 11・19・25・58・75・78・79・付図 勝浦川のミス。桂川の当て字は復
命書の翻訳が阿波の地名を知らない人の手によることを示している。76

金 井 谷 81 金江谷のミス。三好郡三好町屋間小学校のすぐ東を南に流れ、土井
の美濃田大橋の西へ流れる。

○ 金 川 谷 14 三好郡三加茂町の阿波加茂駅の西方に金川の小字あり、その西の奥
ノ谷のことか。近くに金川池もある。

●カナモリ山 10 石鏡山脈中の高山だが不明。瓶ヶ森(標高一八九六m)のことか。
加 茂 野 山 14 三好郡三加茂町南部の山地の総称。現在は一般に加茂山といい、加
茂野山とはいわない。

加 茂 野 山 谷 14 三好郡三加茂町の加茂谷川。

カミカワ | 付図 付図によれば、旧吉野川・今切川・鍋川に囲まれた地域にカミカワらしき記入がある。現在の板野郡北島町。
 上喜来 | 付図 阿波郡市場町上喜来。
 上別宮川 | 8 川の名ではなく、別宮川の鮎喰川・吉野川合流点より上流の部分を指す。

川口村 | 6・9・12・13・50・52 三好郡山城町北部の旧村名。

川崎〈村〉 | 32・33 三好郡池田町南部の旧村名。

川島〈町〉 | 22・28・46・48・52・63・88・付図 麻植郡川島町。

*河島村 | 47 川島町のミス。

○川田山 | 11・16 麻植郡川田町南部の山の総称か。

川端谷 | 89・付図 板野郡板野町東端の谷。

川端村 | 90 板野郡板野町東部の旧村名。

川端山 | 89 板野郡板野町川端北方の山の総称。

木曾川 | 7 木曾の御岳を源流とし、長野・岐阜・愛知・三重の四県を流れる。デ・レーケが調査した。

キタカワノウチ | 付図 北川ノ内。旧吉野川と大谷川に囲まれた地域。板野郡松茂町中喜来から長岸の部分。

北泊港 | 付図 小鳴門海峡の北端にある港 付図の記載は現鳴門市日出港に位置を誤記。

キモンド渠

75 鬼門堂みぞのこと。徳島市大岡川の北への延長にあたり、現在の吉野川右岸堤防から一〇〇mあるいはそれ以上北の堤外地に南北に通じていた堀で付図にも水路の記録がある。西岸に鬼門堂があり、その西に鈴江渡し、さらにその西に別宮渡しがあった(元県立図書館員福本氏教示)。

キリ谷 | 82 切谷。三好郡三好町足代東部の伊月地区から約六〇〇m東方にある小谷。三好町と三野町の町境にある。

九州 | 5 デ・レーケは筑後川の調査もした。

○楠谷 | 81 三好郡三好町足代にある小谷か、クス谷と呼ぶ。

*クス谷 | 88 九頭宇谷川のミス。板野郡土成町西部を流れる。付図にある谷は西の秋月からの谷川も下流で合流している。

クチタ村 | 87 久千田村。阿波郡阿波町中央部の旧村名。

黒谷 | 82 三好郡三野町太刀野の西端付近の小谷。中央構造線橋のすぐ西にある。付近に不動渡しがあり、不動谷と重複の可能性もある。

毛田谷 | 14 三好郡三加茂町毛田の谷。

毛田村 | 51 三好郡三加茂町毛田の旧村。

毛田山 | 14 三好郡三加茂町毛田南方の山の総称。

高知 | 10 高知市。

川内谷 | 14・82 三好郡三野町河内谷川。コウチダニと読む。

コサト山 | 12 郡里山のこと。美馬郡美馬町北部一帯をいい、竜王山（標高一〇六〇m）を含むか。

小里山 | 83 郡里山。

コセ谷 | 83 高瀬谷川のこと。美馬郡美馬町西端の上野付近から同町西村へ流れる。三好郡との郡境をなす谷川。

コセ山 | 83 高瀬谷源流域の山。美馬町西部の山の総称。香川県境の山地。

小剣山 | 15 貞光川の源流の丸笹山一帯を指すか。剣山の前山からでた山名。美馬郡木屋平村木屋平の小字名の「小剣谷」は、穴吹川最上流の猿瀨滝すぐ西に南から流下する谷をいう。小剣山との関係は不明。

小島田村 | 54 鳴門市島田島南部の旧村名。

琴平山 | 12 三好郡池田町の箸蔵山のことか。箸蔵寺は琴平神社（金刀比羅宮）の奥の院といわれる。

小松島 | 78・付図 小松島市小松島町。

小松島湾 | 6 デ・レーケは良港と称えている。

小松新田 | 付図 吉野川・宮島江湖川・今切川・紀伊水道に囲まれた地域。徳島市川内町小松。

小松濠 | 76・78 デ・レーケは徳島港と小松島港の間の新通船路の開設を提案している。その仮称である。

小松野 | 79 小松島のミス。

*小松湾 | 76 小松島湾のミス。

小森谷 | 81 子守谷。三好郡三好町足代の黒川原谷川右岸の谷川。

○木屋平山 | 11 木屋平村の山の総称。旧木屋平村谷口付近の南にそびえる天神丸（標高一六三二m）付近一帯をいうか。

金比羅山 | 81 三好郡池田町の箸蔵山と同一。

貞光 | 28・52・83 美馬郡貞光町。

貞岐川 | 15

讚岐 | 9・89 香川県の旧国名。

○佐野山 | 3・12・80 三好郡池田町の馬路川源流の山。北側の雲辺寺山だけでなく、南側の山地も含むか。

*サノヤマ | 付図 田野山のミス。小松島市田野町の西方にある。

シゲキヨ山 | 83 重清山。美馬郡美馬町中野谷川上流の山の総称。

四国 | 5・8・11・30 11は「四国」のミスか。

漆谷 | 13 漆川（しつかわ）谷。三好郡池田町漆川。

*洪津谷 | 80 州津谷のミス。三好郡池田町州津にある鮎苦谷のこと。

*洪津村 | 80・81 州津村のミス。三好郡池田町の北部の旧村名。

洪野山 | 11・付図 徳島市洪野町北西の山の総称。付図には洪野町・方ノ上町と上八万町間一帯の山を示している。

シモカワノウチ | 付図 徳島市川内町。下川ノ内。現吉野川・榎瀬江湖川・今切川・宮島

江湖川に囲まれた地域。

白川

12 三好郡山城町の小歩危駅北方で吉野川に合流する左岸の支流。

●白川山

10 石鎚山脈中の高山だが不明。山城町白川上流の山のうちの塩塚峰

城山

(標高一〇四九m)・剣ノ山(標高一一〇五m)あたりか。

*シンカワ

11・17・19 徳島市の城山。

ス

スケト橋

付図 新池川のミス。鳴門市大津町を西から北に流れて撫養川に合流する。

スケト橋

57 徳島市の助任橋。

住吉橋

付図 徳島市助任町。付図にはskeioの記入がある。

住吉橋

57 付図 徳島市の住吉橋。付図には住吉の位置にsumiyoshiらしき記入がある。

セ

●セコ山

10 吉野川上流右岸の太平洋斜面との分水界をなす高山。セト山なら高知県土佐町瀬戸川上流の山で、稲叢山(標高一五〇六m)の可能性があら。

ゼンニウジ川

48・付図 善入寺川。善入寺島とその北の阿波郡市場町との間に川名の記載がある。

ソ

ソエ谷

84・86 曾江谷川。美馬郡脇町東部を流れる。

ソエ山

12・84 曾江谷川の源流域の山の総称。

タ

第十(村)堰

3・6・7・8・16・22・23・27・29・33・38・39・41・43・44・46

第十(村)堰

51・52・69・89 名西郡石井町第十。

D S

付図 第十堰。

瀧宮

13・21・81 三好郡三好町土井の吉野川左岸にある滝宮神社で、地名にも使用されている。タキノミヤと読む。13の脚注にロウグウとふりがながあるのはミス。現在の三好町の地名には足代に「滝ノ下」の小字はあ

タダラ川

11・19・58・付図 多々羅川。徳島市南部の渋野町から地藏橋駅の東を流

太刀野(村)

流れ、西新浜町南で勝浦川に合流していた。

太刀野山

82 三好郡三野町西部の旧村名。

種野山

12・82 三好郡三野町太刀野の山の総称。

田野山

16 麻植郡美郷村北西部一帯の山。山川町川田や山瀬との間にある。

田宮川

11 小松島市田野町西の山。付図にはsano yamaと誤記。

チ

チウゾ山

18・19・35 19の図では、鮎喰川とつながって描かれている。

筑後川

12 三好郡山城町の白川の源流。三傍示山の東にある中曾山。

*千葉山

5 11・76・77・78 付図 芝山(日峰)のミス。小松島市日峰山一帯の山。

付図にchiba yamaと明記。76では勝浦川の川口あたりとあり、77には小

ツ

チヨウガマル山 | 78・付図 千代ヶ丸山のミス。徳島・小松島市境の山。

辻 町 | 52 三好郡井川町東部。

津田へ村 | 7・19・23・24・25・26・58・76・79・付図 徳島市津田町。

津田が丘 | 11 徳島市津田町の津田山。

津田川 | 7・8・18・19・25・35・56・58・78 新町川を指す。復命書中には新

町川の記載は全くなく、津田川は多出する。新町川全体を指す場合と、
園瀬川合流点より下流を特に指す場合とがある。

津田港 | 20・76

津田山 | 78 付図 津田湾。徳島市津田の海岸沖に記載がある。

ツグ湾 | 付図 三好郡三野町太刀野の原地区の北方にある小谷。下流には北東から

ツルイシ谷 | 82 オチアイ谷が合流しているが、合流点下流もツルイシ谷と呼んでいる。

剣山 | 10・11・13・17・29・30 標高一九五五m、徳島県の最高峰。

東京 | 4・79 10・12・13・15 三好郡山城町川口で吉野川と合流する。別名伊予川。

銅山 | 54 鳴門市瀬戸町堂浦。

堂の浦 | 11 徳島市南部の伊豆山(犬山)に連なる山としている。したがって、

●遠山 | 津田山あるいは日峰山の東峰(遠見山)のどちらか。

ト

○トガ谷

82 三好郡三好町足代にある小谷。行安地区にある西ノ池北方の谷を指す。復命書では伊月谷と切谷の間であり、後者は県道付近では全く谷の形をしていない。

徳島 | 3・5・8・11・18・19・35・49・51・52・55・56・66・73・75・

徳島県庁 | 76・77・78・79・89・付図 旧徳島市街。

徳島港 | 5・57 現在の徳島市役所の場所にあった。

61・74・75 現在の徳島港ではなく、吉野川の古川渡津、つまり吉野川
橋付近にあった河港を指す。

徳島橋 | 57 位置は現在の徳島市文化センター裏の陸橋付近。

土佐(国) | 4・9・10 高知県の旧国名。

富田村 | 78・付図 徳島市の富田橋・昭和町を含み、新町川と御座船川とに挟ま

ナ

内海 | 53・54・72・75・付図 瀬戸内海。付図にはBinnen Inlandとある。

中島 | 付図 旧吉野川と吉野川などの水路に囲まれた地域に付けられている。

○中津山 | 11・16・17 16では鮎喰川の水源の一つとしている。名西郡神山町川又

南に中津の地名があり、その南東に雲早山(標高一四九六m)、南西に
高城山(標高一六二八m)があり、ここでは後者一帯を指すと思われる。
一般に知られている三好郡池田町と西祖谷山村境の中津山(標高一四四

七m)の可能性は薄い。

中ノ庄村 | 14 三好郡三加茂町中央部の旧村名。

中ノ庄山 | 14 三好郡三加茂町中庄南方の山。水の丸高地付近一帯。

中野谷 | 83 美馬郡美馬町の中野谷川。

中村谷 | 13 三好郡井川町中村(佃駅東)に流下する中村谷川。

鍋川 | 7・73・74 板野郡北島・松茂町境の川。今切川と旧吉野川を結ぶ水路。

鍋川大手 | 付図 旧吉野川・紀伊水道・今切川と鍋川で囲む地域を指している。現板野郡松茂町の主部。付図では鍋川以外に現松茂町役場東方を南北に結ぶもう一つの水路が描かれている。

鍋倉谷 | 83 鍋倉谷川。美馬郡美馬町中央の大きな谷。

鍋島 | 54 小鳴門橋の橋台になっている島。

鳴門 | 3・付図 鳴門海峡を指す。現鳴門市域は撫養の地名で呼ばれていた。

二、西中富村 | 81 三好郡池田町州津を流れ、池田・三好町境をなす西谷川。

西野山 | 14 三好郡三加茂町南部の加茂谷川の源流域。日ノ丸山を含む加茂谷川左岸の山全体のことと思われる。

西野山 | 12・80 三好郡池田町北部の山。

ノ、野村谷 | 84 野村谷川。美馬郡美馬・脇両町の境の川。

八、畑山 | 11・付図 八多山のミス。徳島市八多町の西方一帯の山地。

*ハチウ谷 | 13 三好郡池田町シマの西端を流れる弥十谷のこと。池田村の直ぐ下流側にあり、弥十柳川ともいうが、柳川の部分はJR土讃線沿いに西から合流している。池田町蓮華寺すぐ東の谷がメインとなる。

*八幡川 | 11・18・58・78・付図 八万川のミス。「はちまんがわ」と呼ぶ。徳島市を流れる現在の園瀬川。

*八幡山 | 11・17・18・19・21・付図 八万山のミス。「はちまんやま」と呼び眉山のこと。付図には眉山全体を示すものとして記入。本来は南の八万町側からの呼名であるが、便宜的に眉山の総称として使われていた。

半平山 | 11・16 美馬郡穴吹町古宮地区半平の北にある山(標高一〇一六m)。16では穴吹川の左岸と間違えて記述。

半田(村) | 52・83 美馬郡半田町北部の旧村名。

半田川 | 14・16 美馬郡半田町を貫流する川。

坂東(村) | 34・44・49・64・71・90・91 鳴門市の東南部の旧村名。坂東が正しいが原文表記は坂と坂との混用が甚だしい。

坂東谷 | 38・44・62・90・付図 鳴門市板東の谷。

坂東山 | 12・89・90・付図 付図では大麻山の北東に記載があり、鳴門市板東北部の山の総称。

日開谷 | 87・88・付図 阿波郡市場町を貫流する日開谷川。

東山 12・81 三好郡三好町の西北一帯の山。
 平野山 32 三好郡池田町川崎の南部にある山。
 広島〈村〉 53・64・72 板野郡松茂町中央部の旧村名。
 ○深谷 14 加茂野山より流下する三好郡三加茂町の加茂谷川の支流か。
 福島橋 57 徳島市の福島橋。
 ○不動谷 82 三好郡三野町太刀野西方の小谷。不動渡しの近くの谷と推定されるが、並記される黒谷と区別できない。

船戸〈村〉 17 徳島市一宮町の中心部の旧村名。
 古川渡津 19・66・75 吉野川橋付近にあった吉野川の渡し場。
 別宮 8 徳島市川内町の地名。
 別宮川 7・8・16・17・18・25・33・34・36・37・39・40・41・42・43・45・46・50・51・52・55・56・63・65・66・67・71・72・74・75・76・付図

現在の吉野川本流の第十堰より下流を指す。
 弁天山 77・付図 小松島市金磯町の弁天山。
 ●ホウシ山 11 剣山を囲む高山の一つとして掲げているだけなので、位置は不明。
 ●ホウジ山 17 ホウシ山と同一か。鮎喰川の源流の一つとして記載されている。勝浦郡上勝町に傍示集落があるので高鈴山や大川原高原あたりの山の総称か。また麻植郡木屋平村川井に「ほうじ」の小字名があるので川井峠付近の山か。

蛭川 16・付図 川田川。付図の蛭川は麻植郡山川町麦原から山川駅の東、山瀬駅の北を流れて、吉野川と合流する。合流点近くにホタル川樋門がある。現在の川田川は旧河道より二キロ上流で吉野川と合流している。

本川 6・29 吉野川を指す。
 槇山 11・17 17で鮎喰川源流の一つとされている。麻植郡美郷村中村山に槇山という地名があり、その南の美郷・木屋平・神山三町村の境界の山（標高九〇七m）が、鮎喰川の源流でもあるので、一帯の山を指しているものと思われる。

松尾川 13 祖谷川の一支流。
 三国山 10 三傍示山（標高一一五七m）のこと。三好郡山城町南西端に位置し、阿波・土佐・伊予三国の国境にある。
 ミツアイ 51・71・付図 三ツ合。今切川が旧吉野川から分かれる地点で三ツ合橋がかかっている。板野郡北島町。
 南中島 付図 別宮川（現吉野川）と鮎喰川の合流点西方一帯。ほぼ現在の徳島市不動町の範囲を指している。

○峯田山 11・16・17 蛭川（川田川）および鮎喰川の源流とされているので、麻植郡美郷村と神山町の境の山塊を指すと考えられる。
 宮川内口 69 宮川内谷川の下端。板野郡板野町にある旧吉野川との合流点。
 宮川内谷 69・89・付図 宮川内谷川。板野郡西部を流れる旧吉野川の大支

ム 撫養 流。 4・21・24・29・49・52・64・66・73・74・付図 鳴門市撫養町。現在

撫養海岸 6 鳴門市里浦海岸。

撫養海峡 8・11・23・51 鳴門海峡。付図にはNarutoとある。小鳴門については付図にmya no seto (撫養の瀬戸)とある。

撫養川 45・51・53

撫養口 54 小鳴門海峡の土佐泊側の入口を指しているらしい。付図にもそれらしい記述としてmya moonあり。

撫養港 54

ムヤノセト 53・付図 小鳴門海峡撫養海峡に含まれるか。

メ *メウタイ 86・付図 妙体山。付図にはMieai yamaとある。阿波郡阿波町北西の山(標高七八五m)。

モ 本根 78・79・付図 小松島市元根井のミス。付近に根井の地称はあるが本根はない。付図にはmoloneと記載されている。

本根港 77・78・79 小松島本港を指す。現在の小松島港は昭和九年に建設され「新港」と呼ばれる。

ヤ 山口谷 14 三好郡三加茂町東部の山口谷川。

ヨ 吉野川 3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・16・17・19・20・23・

吉野(川)本流 3・6・7・10・11・12・16・28 吉野川全体を指す場合と、第十より上流の吉野川を指す場合がある。

吉野(川)末流 34・36・37・38・40・42・43・44・45・46・51・52・53・64・66・72・74・89 第十堰より下流の現在の旧吉野川を指す。

●吉野ミブツ 10 脚注に「吉野ミブラ」とあり。意味不明。

*与六山 5 11・付図 丈六山のミス。付図に八多川と多々羅川の間にyorokuyamaと明記。徳島市八多町と渋野町と間の山地を示している。オランダ流の表記の読み間違いか。あるいは「丈」の筆記体が「よ」と間違われやすいので、ガリ版復刻時のミスか(高田豊輝氏指摘)。

ロ 瀧宮 13 脚注にロウグウの読みを付けているが、注釈者のミス。タキノミヤと読む。三好郡三好町土井の滝宮神社および周辺の地名。

ワ 脇 52 美馬郡脇町。

*ワカマチ 84 脇町のミス。

和田崎 77・付図 和田ノ鼻(小松島市和田島)のこと。付図にwadasakiと記載

和 田 島 — 付 函 小 松 島 市 和 田 島 町。
さ れ て い る。

以
上